

# 岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会 第1回(令和2年度)の検討委員会の振り返り

令和4年3月  
青森河川国道事務所

# 生態系ネットワークの形成により期待されること

生態系ネットワークの形成と取組みの視点を河川流域へ拡大し、農地や緑地等における環境保全の取組みや市町村・NPO・企業・学校等の多様な主体と連携・協働して取組みを行うことで、地域の自然をより豊かにするだけでなく、農産物品の環境ブランド化や地域の自然や歴史、文化を活かした観光の推進、環境学習や地域への愛着の醸成等によって地域の活性化につながることを期待されます。

## 生態系ネットワークを形成することで

## 地域の魅力と活力が生まれる

### ▲生態系ネットワークのイメージ▲



# 生態系ネットワーク形成の取組み

範囲を河川から流域に拡大した生態系ネットワークの形成を進めるには、多様な主体との連携が必要であることから、協議会・委員会等を設け、調整や合意形成を図っていきます。

## 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと

「川の中」の事業から「流域」連携へ

## 河川を基軸とした生態系ネットワーク

生息地づくり

堤外地  
(川の中)

堤内地  
(農地・池沼・森林等)

地域づくり

地域ブランド  
確立

観光振興

地域の魅力向上

持続可能な地域の実現

多様な主体との連携体制の構築が必要→推進協議会・検討委員会等の設置

参考：国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課（2017年）川からはじまる川から広がる魅力ある地域づくり ～河川を基軸とした生態系ネットワークの形成～

# 岩木川流域生態系ネットワークの推進体制

## 東北生態系ネットワーク推進協議会

平成29年度～【事務局：東北地方整備局 河川部】

（規約第3条：協議事項）

協議会では主に、東北における河川を基軸とした広域の生態系ネットワークの形成に資する以下の事項について協議する。

- （1）水辺環境の保全・再生の方策、その成果を活かした持続可能な地域振興の方策、それらを通じた東北の魅力や価値の向上
- （2）東北全域を対象とする基本計画の検討・策定及び見直し
- （3）モデル地域等における取組状況の把握、取組みの推進に関する助言、情報の提供及び発信等の支援
- （4）その他、前条の目的を達成するために必要な事項

## 岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会

令和2年度～【事務局：青森河川国道事務所】

（規約第3条：検討事項）

検討委員会は、岩木川流域における河川を基軸とした生態系ネットワークの形成に資する以下の事項について協議する。

- （1）生態系ネットワークの基盤となる水辺環境の保全・再生に関する事
- （2）生態系ネットワークを活かした流域の魅力・価値の向上に関する事
- （3）生態系ネットワーク形成に関する具体的な取組みをまとめた推進行動計画の策定及び推進行動計画の進捗把握
- （4）その他、前条の目的を達成するために必要なこと

## 実践的な取り組みを行うための組織（部会又はWG）

令和3年度～【事務局：青森河川国道事務所】

（規約第7条：部会等の設置）

- （1）検討委員会規約の第2条に掲げる目的を具体的に推進するために、座長の判断により主要なテーマや課題等に関する専門的な検討を行う。
- （2）新たに設置する組織の名称や検討事項、構成、当該組織の運営上必要な事項等については別途定めるものとする。

※行政担当者間での情報意見交換が必要な場合、連絡調整会議を実施

# 第1回 岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会（令和2年度）

岩木川流域の豊かな自然および水辺環境の保全・再生の取り組みを多様な主体が連携・協働し、生態系ネットワークの形成を推進するとともに、流域全体の魅力や価値の向上、地域の活性化につなげることを目的に、岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会を設置

- [日 時] 令和3年1月22日（金）13:30~15:30
- [会 場] 青森河川国道事務所 2F会議室（WEB会議併用）
- [出席者] 委員（10名） ※出席者名簿参照
- [事務局] 東北地方整備局 青森河川国道事務所



開催風景

## 第1回委員会 出席者名簿（順不同:敬称略）

氏名	所属・役職
東 信行(座長)	弘前大学 農学生命科学部 教授
小山田 康雄	青森県商工会連合会 専務理事
高坂 幹 大庭 一郎	公益社団法人 青森県観光連盟 専務理事 " " 観光振興グループマネージャー(代理出席)
松澤 秀治 石田 隆徳	青森県農業協同組合中央会 農業対策部 部長 " " 農業支援課考査役(代理出席)
古川 達夫 阿部 伸樹	青森県 県土整備部 河川砂防課 課長 " " " 課長補佐(代理出席)
成田 澄人 佐藤 新吾	青森県 農林水産部 農林水産政策課 課長 " " 企画調整グループマネージャー 総括主幹(代理出席)
松村 浩二 張山 樹	青森県 環境生活部 自然保護課 課長 " " " 技師(代理出席)
杉山 正広	農林水産省 東北農政局 農村振興部 農村環境課 課長
太田 貴智 雪本 晋資	環境省 東北地方環境事務所 野生生物課 課長 " " 西目屋自然保護官事務所 自然保護官(代理出席)
一戸 欣也	国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 事務所長

## 概要

- 岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会の設立が承認され、東委員に座長にご就任いただきました。
- 検討委員会の取組イメージについて共有されたほか、農水省 及び環境省から関連する取組のご紹介をいただきました。
- 今後の取組について、ワーキンググループの設置や推進行動計画等の意見交換が行われました。

## 各委員の主なご意見

- 岩木川流域は、ヨシ原等の人に関わる生態系が特徴的である。他地域や海外から見ると魅力的な素材であるので、その評価と活かし方が課題である。
- 生態系ネットワークの取組を通じて、各省庁が連携し展開していくことが望ましい。
- 今後は地域に根差した事業を実際に進めていくことが必要で、例えば地域の子どもたちを対象に地域の自然をより深く知ってもらうイベント等が必要ではないか。このような取組みを進めて行く上では、ワーキンググループ等の実働部隊が必要である。